

地域ケア会議

鹿児島市地域包括支援センター中央

【計画】

作成担当者： 高野 大輔

| | | | |
|------|----------------------------------|---|------------|
| 開催日時 | 令和01年12月06日 14:00 ~ 16:00 | 開催場所 | 鹿児島市民文化ホール |
| 参加者 | 介護支援専門員：70人、司法書士：5人、地域包括支援センター職員 | | |
| | 総数 75人 | | |
| 内容 | テーマ | ○高齢者虐待の早期発見と権利擁護の視点 ○成年後見制度の活用について | |
| | 目的 | 介護支援専門員に対し、高齢者虐待やそのリスクを早期に察知し、適切な権利擁護につなげることの重要性について理解を促進する。 | |
| | 概要 | ○高齢者虐待の早期発見と権利擁護の視点 講師：鹿児島市長寿あんしん相談センター武・田上 社会福祉士 西野 浩朗 ○成年後見制度の活用について 講師：公益社団法人成年後見センターリーガルサポート 鹿児島支部 司法書士 内田 雅之 ○事例検討 テーマ：高齢者虐待を未然に防ぐ為に、利用者支援で気を付けていきたいこと ：成年後見制度の活用において、介護支援専門員として出来ること | |

【結果】

| | | | |
|---------|--|------|------------|
| 開催日時 | 令和01年12月06日 14:00 ~ 16:00 | 開催場所 | 鹿児島市民文化ホール |
| 参加者 | 介護支援専門員：69人、司法書士：3人、長寿あんしん相談センター：17人、講師（司法書士）：1人、地域包括支援センター職員、地域包括支援センター職員 | | |
| | 総数 90人 | | |
| 内容 | ○高齢者虐待の早期発見と権利擁護の視点について、パワーポイント資料を用いて講演。高齢者虐待に陥る可能性のある家族のパターンや介護感について紹介し、重篤な事態に陥る前に気づきを持つこと、適切な権利擁護につなげていくことの必要性を説明。 ○成年後見制度と法テラスの活用についてパワーポイント資料を用いて講演。制度の基本的な内容や定義を確認しつつ、制度に照らした際の判断力の程度など、実務的な面にも言及。主に申し立てやその支援、活用しうる周辺制度を紹介する。 ○事例検討 居宅介護支援事業所の介護支援専門員から提供された事例に基づく事例を紹介したうえでグループワークを行う。高齢者虐待や成年後見に関する講演内容を踏まえつつ、介護支援専門員としてどのような取り組みができるかについて意見交換を行う。 終了後、内田司法書士よりコメント、堀之内業務課長より総括をいただき閉会する。 | | |
| 今後の課題など | ○今回は成年後見制度活用の入り口にあたる内容を深めたが、実際に成年後見人等が着任して以降の連携については取り扱うことができなかった。 | | |